施設名

千人町 学童保育所第1クラブ

			所管調	6月	指定管理者	所管課	9月	指定管理者	所管課	12月 所管課 指定管理者	 所管課	所管課	指定管理者
視点		評価項目 出席児童数に見合った職員配置であるか。また、 世間後児童志授品は東書記頭はおり取開されて	評価	アロメント コメント 配置職員及び放課後児童支	自己評価(コメント)	評価	コメント	自己評価(コメント)	評価	コメント 自己評価(コメント)	期末評価	コメント	自己評価(コメント)
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	職員配置(常勤数、非常勤数、加配数)・放課後児童支援員	放課後児童支援員は事業計画どおり配置されているか 【日報】	В	援員は適正に配置されている。 月報、日報は適切に作成している。	支援単位に合った適正配置を行っている	В		支援単位に合った適正配置を行っている	В	支援単位に合った適正配置を行っている	В		支援単位に合った適正配置を行っている
	HJ	育成日誌兼業務記録)を作成しているか	В	また、法人独自のミーティングノート や職員同士で情報を共有する連絡 ノートを作成し、担当業務の明確 化、子ども達の詳細の状況を記録 することで、全職員、全学童で情報 を共有し保育につなげる取組みを 行っている。	、			B 問題なし	В	A 育成日誌の裏面に、ミーティングノートを作成し、業務記録と保育状況、保護者対応がいつでも分かるよう変更した。	В		A 育成日誌の裏面に、ミーティングノートを添付し、業務記録と保育状況、保護者対応が分かるよう作成。
	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設し、資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか 【銀行口座の通帳の有無・独立した会計帳簿】	В	適正かつ明確化が図られている。	B 問題なし	В		B 問題なし	В	B 問題なし	В		B 問題なし
		延長利用料金の徴収は適正に行われているか 【独立した会計帳簿・日報、月報・銀行口座・領収 書綴】	В	適正に徴収されている。	B マニュアルに沿って徴収、適切に対応	В		B マニュアルに沿って徴収、適切 に対応	В	B マニュアルに沿って徴収、適切に対応	В		B 年度替わりの際に料金が発生 している場合、請求に行き違い のないよう対応している
	収支計画が適正であること	給与の支出及び収支計画が適正に執行されているか 【給与規程・賃金台帳・事業計画書(収支計画)・事業報告書】		適正に執行されている。	B 問題なし	В		B 問題なし	В	B 問題なし	В		B 問題なし
	定性的 管理運営がきちんとできる職員体制 や研修体制がとれていること	児童発達、アレルギー対策等の研修や職員倫理 をはじめとする資質向上を図るための人材育成研 修が行われているか 【研修件名・内容】	В	応急救護研修、保育実践研修など法人ブロック内研修、法人全体研修など計画的に実施している。また児童虐待防止研修などを実施している。	、 職員研修(倫理、虐待予防)	В		A 『応急救護研修』、『全体保育 実践研修』を実施。全体保育 実践研修においてはケース検 討資料を作成、発表し、より良 い対応法を画策している。	A	応急救護研修、保育実践研修など法人ブロック内研修を計画的に実施、参加している。また、法人の全所長が出席する全体保育実践研修では、「気になる子についてのケース検討会」を実施。実際に発生している現場の課題について、討議がなされている。討議された内容やアドバイスを基に次の保育活動に活かし、取り組んだ効果について、再び全所長で確認・検証するといった年間を通して職員の資質向上に取り組んでいる点を評価した。	В		A 『全体保育実践研修』では事例 検討を発表する担当をするこ とで当該児だけでなく施設内子 ども一人ひとりへの対応につ いて深く配慮する姿勢が持て た。
		保育の継続性を確保するため、年度途中の人事 異動を避け、職員を安定・継続的に配置している か 【事業計画書・日報・ヒアリング等】	В	安定かつ継続的な職員配置がなされている。	^ド B 問題なし	В		B 問題なし	В	B 問題なし	В		B 問題なし
	施設の管理運営を安定して行う能力	事業者の経営状況が健全な状態であるか 【確認資料例:財務諸表・財務評価表】	В	適正である。	B 問題なし	В		B 問題なし	В	B 問題なし	В		B 問題なし
	を有しているか	業務の一括委託が行われていないか 【第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業 報告書・実地調査・会計帳簿】	В	協定書で定める範囲内で非常 通報装置等、業務の一括委託 が行われている。	B 問題なし	В		B 問題なし	В	B 問題なし	В		B 問題なし
施設の運営において公共性、公平性、公	定 量 入退所等関係書類が遅滞なく処理され	れているか	В	適切に処理されている。	B 問題なし	В		B 問題なし	В	B 問題なし	В		B 必要に応じ放課後児童支援課 へ確認連絡を取りながら学校 連絡便を活用し、迅速に対応 している。
	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	開所日数、開所時間は守られていたか 【日報、月報・事業報告書】	В	開所日数、開所時間は守られている。	B 問題なし	В		B 問題なし	В	B 問題なし	В		B 問題なし
	定性的 施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	文書の管理・保存が適切に行われているか 【ファイル基準表(なければそれに準ずるもの)・実 地調査】	В	ファイル基準表に則り適切に 管理保存がされている。	B 文書保存年限表に基づき、適 切に保管、管理	В		B 文書保存年限表に基づき、適 切に保管、管理	В	B 文書保存年限表に基づき、適 切に保管、管理	В		B 文書保存年限表に基づき、適 切に保管、管理
		設備・機器類の安全確認や定期的なメンテナンス、施設の修繕、清掃、整理整頓が行われているか 【事業報告書・実地調査】	В	職員による日常清掃をはじめ 各種機器の保守点検が行わ れている。また法人職員が製 作した棚を使用して整頓を行っ ている。	日日日本・「	В		B 壁の修繕工事が9月で完了。 保育スペースとトイレの壁が新 しくなった。	В	B 問題なし	В		B 問題なし
		備品の管理が適切に行われているか 【備品台帳・実地調査】	В	適切に管理されている。	B 問題なし	В		B 問題なし	В	B 問題なし	В		B 問題なし
施設のサービス向上、	定 量 利用者の満足度3.0 【利用者満足度調査】										A	利用者の満足度は3.0以上ある。	で B 問題なし
	放課後子ども教室運営団体と情報共柔軟に対応されているか	有が図られ、放課後子ども教室への参加について	В	児童の情報共有や安全対策を 双方で連携・協力して行い、放 課後子ども教室開催時には積 極的に参加している。	B 連携推進委員を配備し、適切 に対応している	В		A 連携推進委員を配備し、適切 に対応している	В	B 連携推進委員を配備し、適切 に対応している	В		B 連携推進委員を配備し、適切 に対応している
利用者の増加等な	利用者からの苦情処理の体制がとれていること	苦情解決の体制(解決責任者の設置・受付担当者の設置)を整備し、利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか【マニュアル・相談、苦情をまとめた整理帳簿】		苦情対応の体制を整え、苦情 や相談案件についても記録簿 を作成しミーティング時に職員 間で共有するなど適切な対応 がされている。		В		B 問題なし	В	B 相談には速やかに対応し、保 護者にはその都度報告してい る 苦情なし	В		B 相談には速やかに対応し、保 護者にはその都度報告してい る 苦情なし
大策が図られているか といるか 経費の節減が図られ 的な事業計画に基づいて事業が 個人情報保護管理及び危機 施設の効率的な管 事業の達成目標が明確で、具体	性的 利用者への周知・理解及び支援を深める取り組みを進めているか	保護者(会)とのコミュニケーション及び支援を深める取り組みが適切に行われているか 【おたより、連絡帳】	В	保護者会、おたよりやアプリを 使い、保護者へ活動内容を定 期的に伝えるなど適切に取り 組まれている。	В	В		B 月の学童保育所通信発行、 メール配信。	A	保護者会やおたより、アプリを活用し、保育活動内容を定期的に伝えるなど適切に取り組まれている。また、各行事において家族の参加や、イベント開催時は、保護者にも協力をいただくなど、保護者とコミュニケーションを深められるよう取り組んでいる点を評価した。	В		A ICTシステムを導入し、子ども の登降所状況を保護者が把握 できるようにすることで『安心で す』との声を多数いただいてい る。
	学童保育所と地域の交流を広げる取 組がなされているか	学校、地域等の関係機関と連携し、特色ある行事を計画的に実施することで、保育活動の拡充・拡大を図っているか 【事業計画書・事業報告書・行事計画書・ヒアリング等】	Α	学校への情報提供・共有をはじめ、状況に応じて児童相談所、子ども家庭支援センターとの連携を図っている。地域ボランティアの方の協力をいただき、お話し会やお手玉の会の講習を実施し保育活動の充実を図っている。	E B 問題なし		引き続き、学校への情報提供・共存をはじめ、状況に応じて児童相談所、子ども家庭支援センターとの連携を図っている。法人枠を超えてのドッチボール交流大会の実施や、地域ボランティアの方の協力をいただき、お話し会やお手玉の会の講習を実施し保育活動の充実を図っ	A 地域ボランティアによる月1回『おはなしの日』、隔月1回『おてだまの日』を実施。交流行事のドッジボール大会は他事業者を含む6施設で実施した。	A	学校への情報提供・共有をはじめ、状況に応じて児童相談所、子ども家庭支援センターとの連携を図っている。地域ボランティアの方の協力をいただき、お話し会やお手玉の会の講習を実施し保育活動の充実に取り組んでいる。	A	ティアの方の協力をいただき、お言 し会やお手玉の会の講習を実施し	、 A で 地域ボランティアによる月1回 「おはなしの日』、隔月1回『お てだまの日』を実施。次年度も 継続する。
	定性 資源の有効活用など環境に配慮した 管理運営がされていること	「八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム(HーEMS:ヒームス)」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか【ヒアリング等】		節電・節水の呼びかけ、紙のリ サイクルなど環境に配慮した 取り組みがなされている。	J B 問題なし	В	ている。	B SDGsかるたを通じ、環境問題 への理解を深めた。	A	節電・節水の呼びかけ、紙のリサイクルや、SDGsかるたを通じ、環境問題への理解も深めるよう努めている。新しい取組みとして学童まつりにおいてSDGs活動プロジェクト取り組みの一環としてゴミの仕分けコーナーを設置し、資源再利用への実践に取り組んだ。	В	保育活動の充実を図っている。	A:施設内研修を毎月実施し、 実践に努めている 「SDGs全体研修」の実施 「学童エコスクール」などで子 ども達にも啓発
		ているか	В	計画どおり実施されている。	B 問題なし	В		B 3年生対象のキャンプを実施。 また、交流行事のドッジボール 大会は他事業者を含む6施設 で実施することが出来た。		だ。 B ミニサッカー大会を11月に実施	В		B 問題なし
	量的 防災訓練等(地震、火災、不審者、交	通ルール等)は事業計画どおり実施されているか	В	地震を想定した避難訓練、防 災教育など計画的に実施され ている。	計画通り実施している	В		B 計画通り実施している	В	B 計画通り実施している。火 災または大地震発生を想定。	В		B 計画通り実施
	個人情報の取り扱いが適切であること	個人情報の保管等適切な管理のための必要な措置が講じられているか 【保管庫の施錠、マニュアルの整備、情報セキュリティの順守】	В	個人情報取り扱いにおけるマニュアルを整備し、施錠付きの 書庫で保管するなど必要な措 置が講じられている。	B マニュアルに沿って適切に管 理している	В		B マニュアルに沿って適切に管 理している	В	B マニュアルに沿って適切に管 理している	В		B マニュアルに沿って適切に管 理している
	定性的 緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制が取られていること	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか 【保険証券】									В	保険加入は適切である。	B 問題なし
		事故や災害発生時の緊急時における初動対応が 迅速かつ適切に行われたか。また、適切に行える よう責任、手順(マニュアル)等を明確にし、体制が 整えられているか 【マニュアル・事業計画書(事業計画)・事故報告 書】		万が一の事故や災害に備え、 適切な対応が出来るようマ ニュアル類や連絡体制を整え ている。	B 問題なし	В		B マニュアルを再確認し、日々の ミーティングにて職員対応を明 確化	В	B 日々のミーティングにて職員の 配置担当について明確化	В		B マニュアルを都度確認し、日々 のミーティングにて職員の配置 担当について明確化
		事故報告等の収集した事例について、職員の参画のもと発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討実施する等の取組が行われているか【マニュアル・事業計画書(事業計画)・事故報告書】	В	事故案件や事故事例を基に発生原因の検証や、対応策について職員間で話し合いを行っている。また事故を未然に防ぐため、ミーティング時に職員間で安全対策・再発防止に向けた意識啓発に取り組んでいる。	B	В		B 全体で安全対策委員会を組織 し、事故の検証、再発防止策 を検討し、施設内へ周知してい る	В	B 全体で安全対策委員会を組織 し、事故の検証、再発防止策 を検討した内容を施設内へ周 知している	В		B 全体で安全対策委員会を組織 し、事故の検証、再発防止策 を検討した内容を施設内へ周 知している

期末総合評価	B
所管課コメント	市との協定内容のとおり、事業運営及び施設の維持管理は適正に実施されている。会計処理も適切であり問題はない。 社会福祉協議会は、学童保育所の管理運営を20年以上行っており、多くの施設を適切に管理・運営するためのノウハウが蓄積され、育成日誌をはじめとする帳票類の記載や各種マニュアルの更新も随時行われ整っている。 適正な職員配置における応援体制や、課題等が発生した場合、組織全体で対応・解決していくこと、保育行事、職員研修において法人枠を超えて近隣の学童保育所ともに実施する姿勢は公の施設を管理運営する意識が高く評価する。 本施設は、学校敷地内に設置されており、隣接の千人町第二クラブと連携を取りながら、安定した保育に努めている。 今後も保護者、学校、地域をはじめとする関係機関と良好な関係を築き、設置趣旨に沿った効率的・効果的かつ安定的な学童保育の運営を期待する。